

# 保育所等における国際保育の実態調査 報告

調査目的：保育所等における外国にルーツを持つ子どもの受け入れ状況、園での取り組みや課題等を把握し、多文化共生に向けた施策立案の参考とすることを目的とし、調査を実施

調査の対象：山梨県内に所在する認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業所

調査対象数：311施設

抽出方法：全数調査

調査方法：県内認可保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業所を対象としたウェブによるアンケート調査

調査基準日：令和7年6月1日

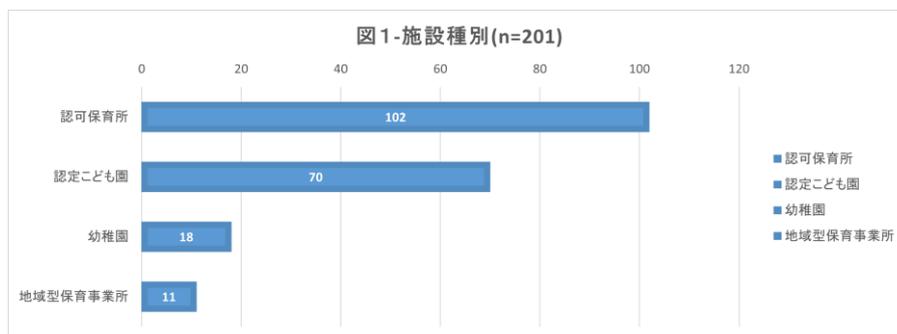
調査事項：属性事項、外国にルーツを持つ子どもの状況、受け入れ体制、取り組み、受け入れ意向、課題、行政に望む支援

## <調査結果>

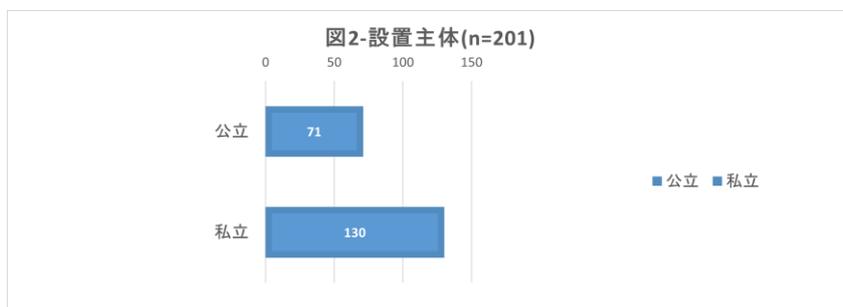
### 回答数

有効回答数201、有効回答率（64.6%）

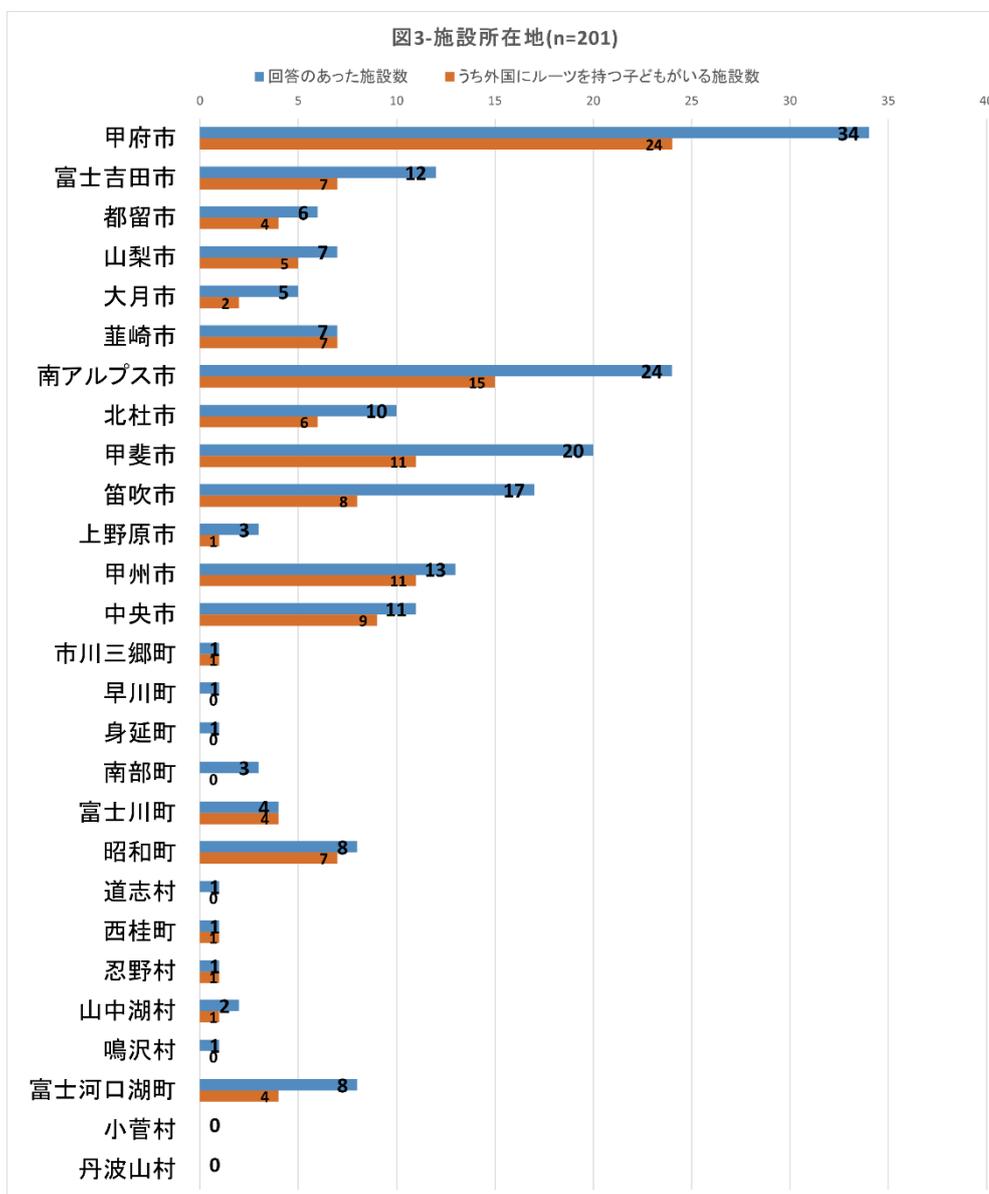
### 施設種別



## 設置主体



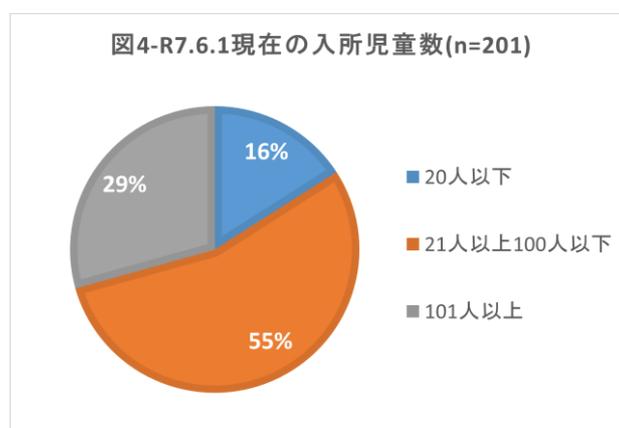
## 施設所在地 (うち外国にルーツを持つ子どもがいる市町村別施設数)



## 令和7年6月1日現在の入所児童数計

○令和7年6月1日現在の入所児童数毎の施設数

		公立	私立
20人以下	32	9	23
21人以上100人以下	110	38	72
101人以上	59	24	35
計	201	71	130

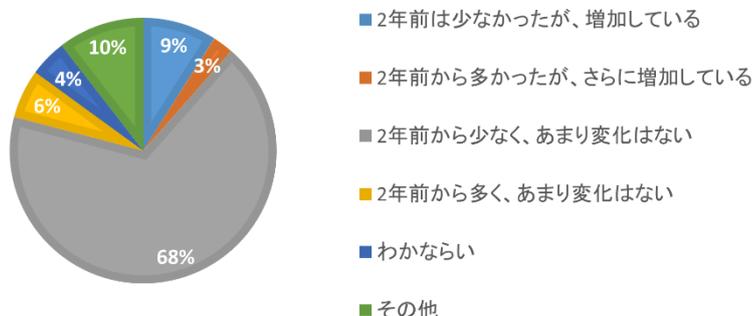


## 今から2年前と比較して外国にルーツを持つ子どもの受け入れ状況の変化

○今から2年前(令和5年6月1日時点)と比較し、外国にルーツを持つ子どもの受け入れ状況の変化(選択は一つまで)

		公立	私立
2年前は少なかったが、増加している	18	9	9
2年前から多かったが、さらに増加している	5	2	3
2年前から少なく、あまり変化はない	136	44	92
2年前から多く、あまり変化はない	12	5	7
わからない	9	4	5
その他	21	7	14
計	201	71	130

図5-外国にルーツを持つ子どもの  
受け入れ状況(n=201)



令和7年6月1日時点において、外国にルーツを持つ子どもがいるか

○令和7年6月1日時点において、外国にルーツを持つ子どもがいるか。

		公立	私立
いない	72	22	50
いる	129	49	80
計	201	71	130

図6-外国にルーツを持つ子どもがいるか  
(n=201)

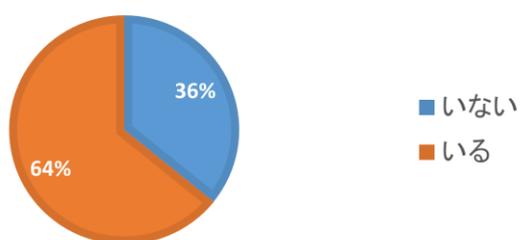
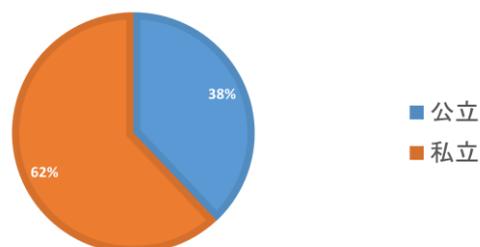
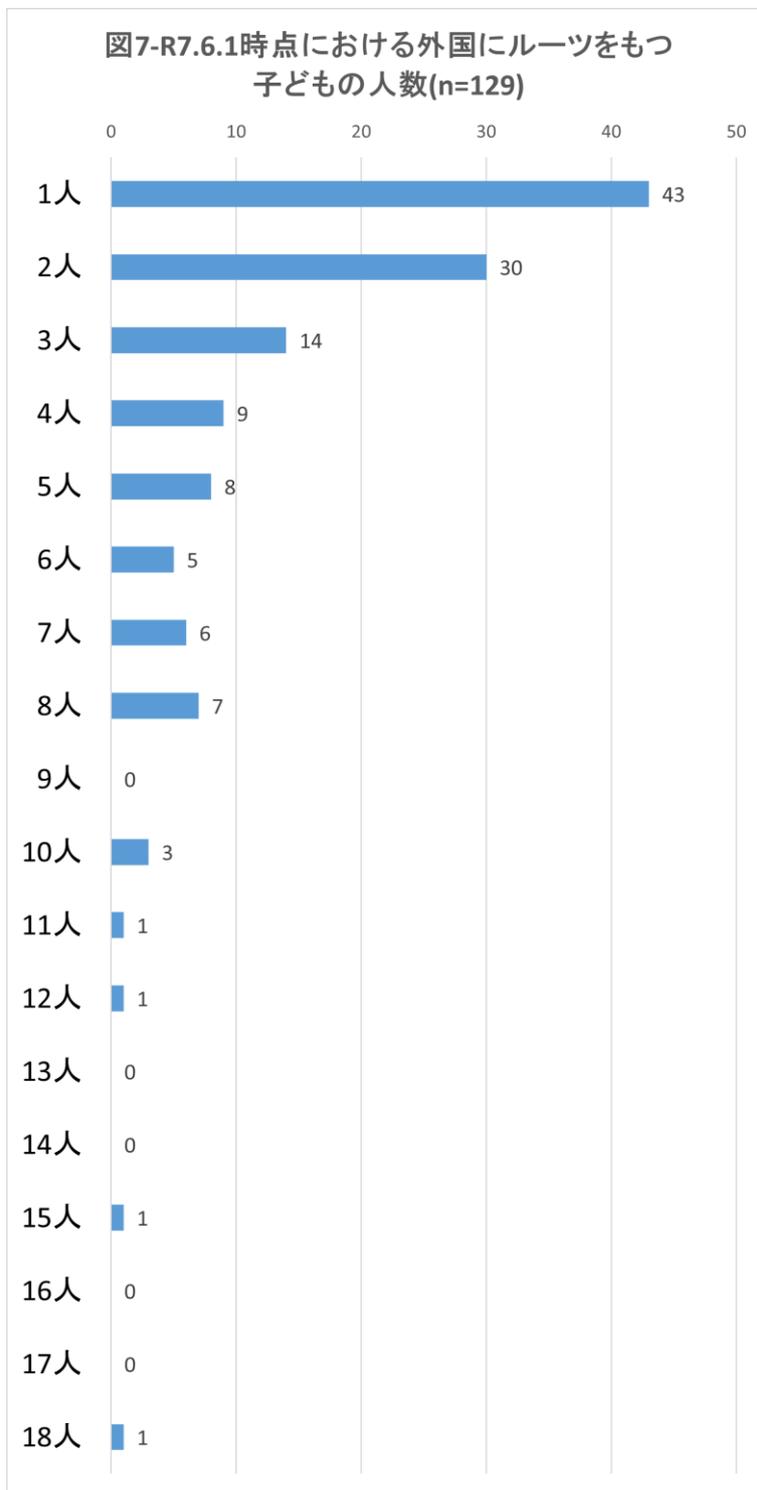


図6--2-外国にルーツを持つ子どもがいる  
公立・私立別割合(n=201)

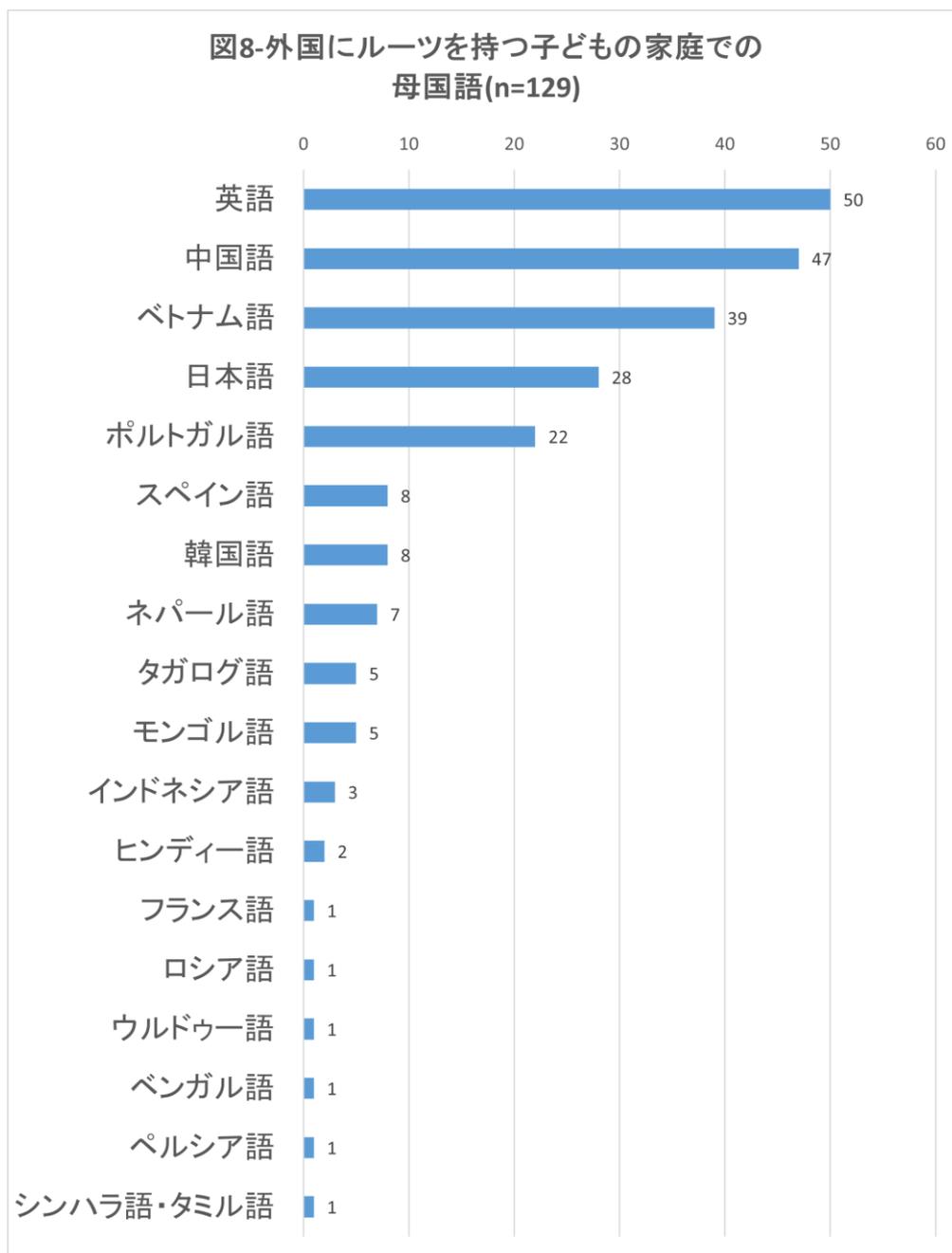


○令和7年6月1日時点において、外国にルーツのある子どもがいる場合の人数

何人いるか	施設数
1人	43
2人	30
3人	14
4人	9
5人	8
6人	5
7人	6
8人	7
9人	0
10人	3
11人	1
12人	1
13人	0
14人	0
15人	1
16人	0
17人	0
18人	1
計	129



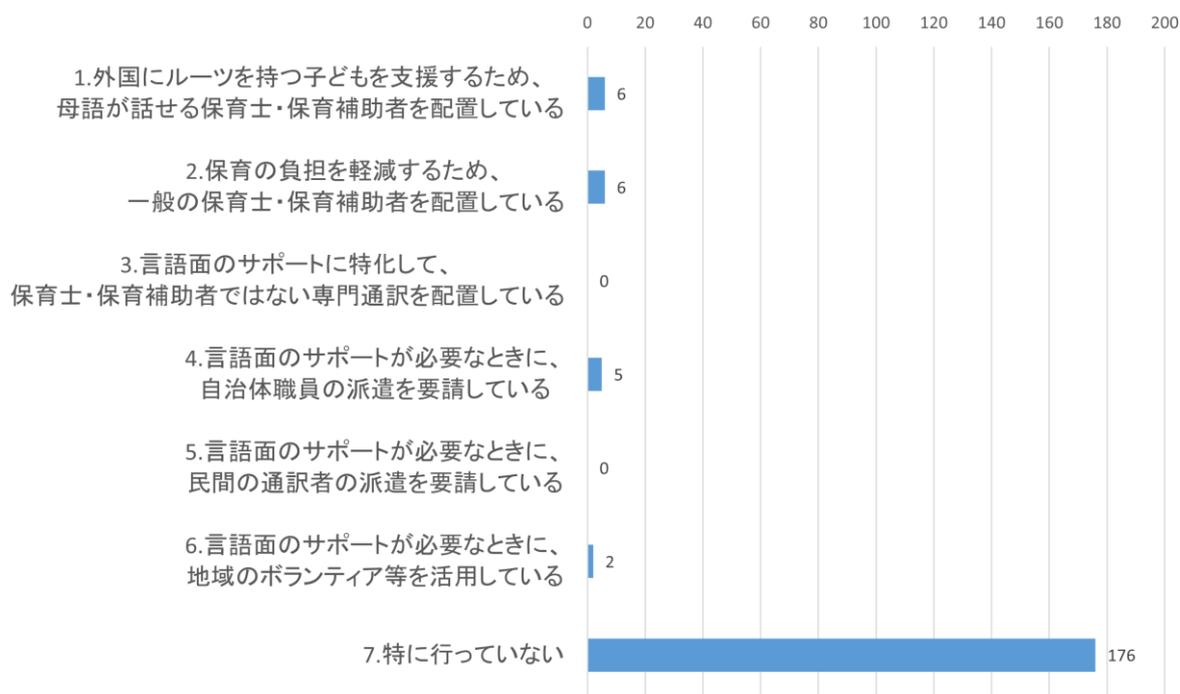
○外国にルーツを持つ子どもの家庭での母国語



## 外国にルーツを持つ子ども・保護者を支援するために人員配置等を行っているか

○外国にルーツを持つ子ども・保護者を支援するために 人員配置等を行っているか(複数回答可)		公立	私立
1.外国にルーツを持つ子どもを支援するため、 母語が話せる保育士・保育補助者を配置している	6	1	5
2.保育の負担を軽減するため、 一般の保育士・保育補助者を配置している	6	2	4
3.言語面のサポートに特化して、 保育士・保育補助者ではない専門通訳を配置している	0	0	0
4.言語面のサポートが必要なときに、 自治体職員の派遣を要請している	5	5	0
5.言語面のサポートが必要なときに、 民間の通訳者の派遣を要請している	0	0	0
6.言語面のサポートが必要なときに、 地域のボランティア等を活用している	2	0	2
7.特に行っていない	176	63	113
その他	16	5	11
計	211	76	135

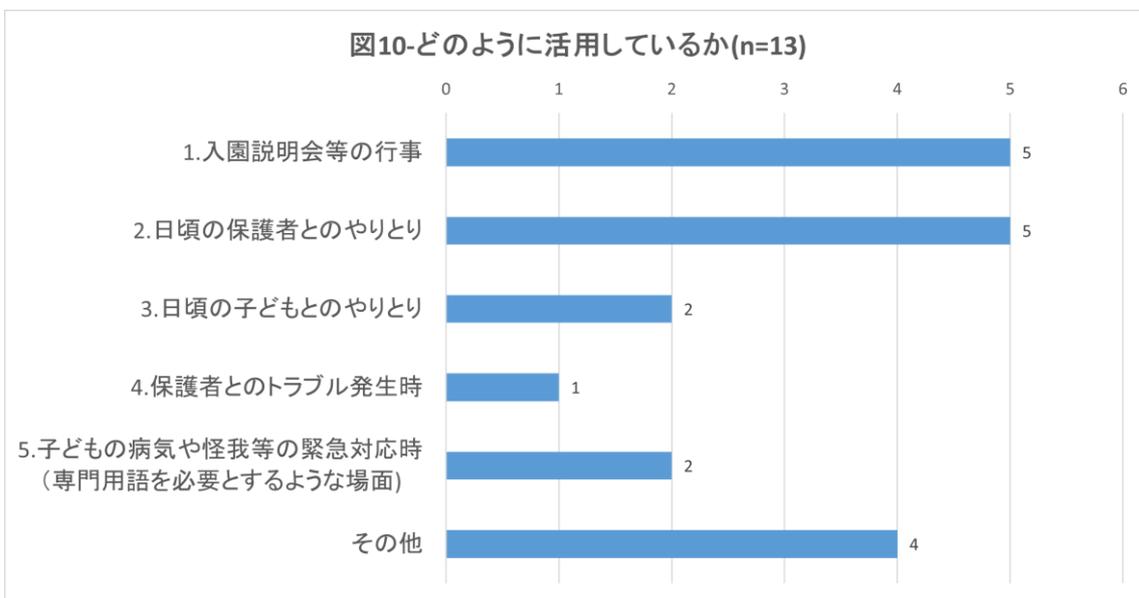
図9-外国にルーツを持つ子ども・保護者を支援するための  
人員配置等状況(n=201)



言語面のサポートができる人材を活用している場合に、どのように活用しているか

○「言語面のサポートができる人材を活用している」場合、  
どのように活用しているか(複数回答可)

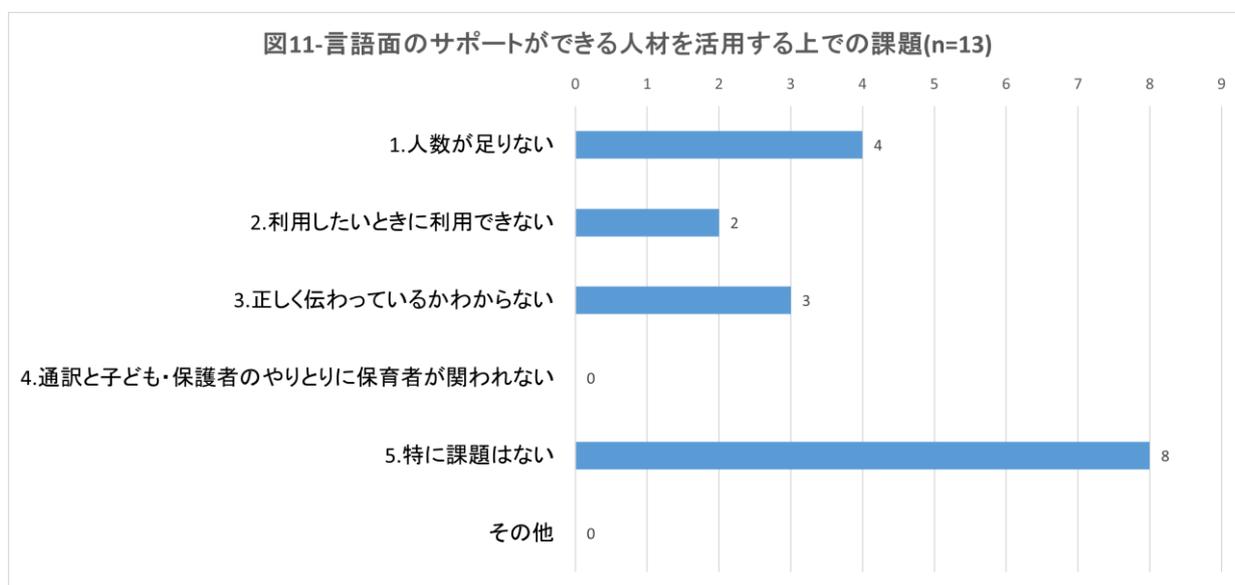
1.入園説明会等の行事	5
2.日頃の保護者とのやりとり	5
3.日頃の子どもとのやりとり	2
4.保護者とのトラブル発生時	1
5.子どもの病気や怪我等の緊急対応時 (専門用語を必要とするような場面)	2
その他	4
計	19



言語面のサポートができる人材を活用している場合に、活用する上での課題があるか

○「言語面のサポートができる人材を活用している」場合、活用する上の課題(複数選択可)

1.人数が足りない	4
2.利用したいときに利用できない	2
3.正しく伝わっているかわからない	3
4.通訳と子ども・保護者のやりとりに保育者が関われない	0
5.特に課題はない	8
その他	0
計	17

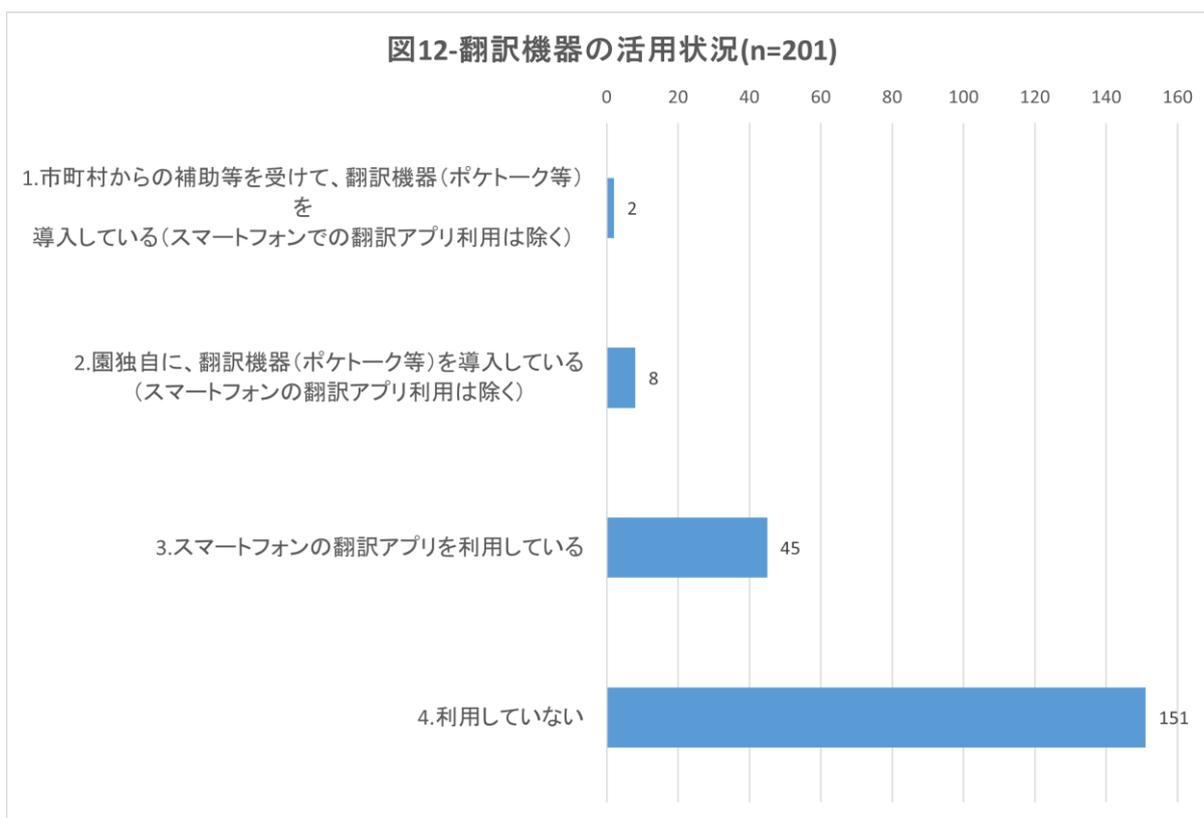


## 翻訳機器や翻訳アプリを活用しているか

○翻訳機器や翻訳アプリを活用しているか(複数選択可)

		公立	私立
1.市町村からの補助等を受けて、翻訳機器(ポケットーク等)を導入している(スマートフォンでの翻訳アプリ利用は除く)	2	2	0
2.園独自に、翻訳機器(ポケットーク等)を導入している(スマートフォンの翻訳アプリ利用は除く)	8	1	7
3.スマートフォンの翻訳アプリを利用している	45	19	26
4.利用していない	151	51	100
計	206	73	133

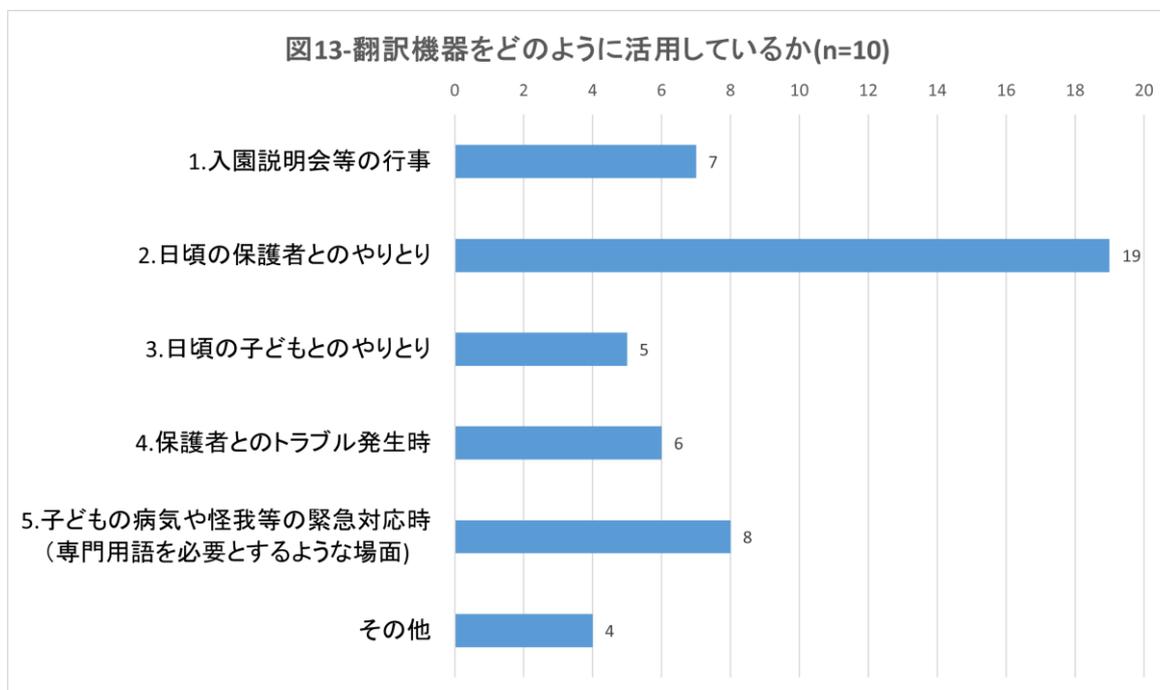
図12-翻訳機器の活用状況(n=201)



## 翻訳機器を導入している場合に、どのように活用しているか

○翻訳機器をどのように活用しているか(複数選択可)

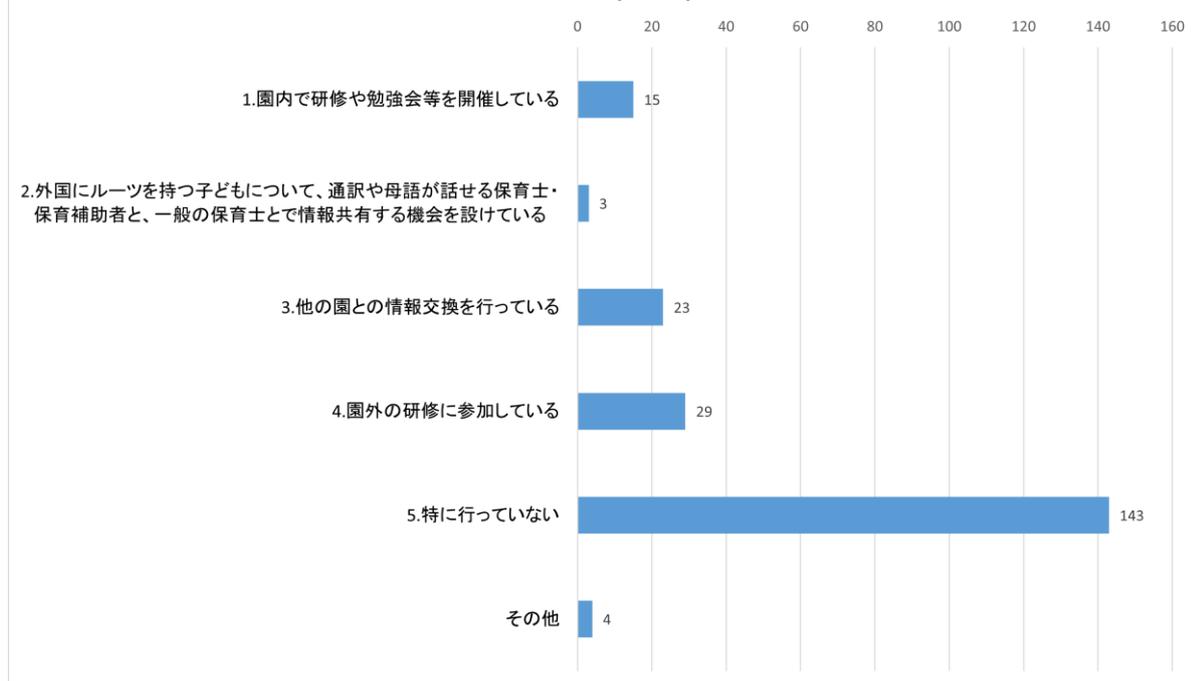
1.入園説明会等の行事	7
2.日頃の保護者とのやりとり	19
3.日頃の子どもとのやりとり	5
4.保護者とのトラブル発生時	6
5.子どもの病気や怪我等の緊急対応時 (専門用語を必要とするような場面)	8
その他	4
計	49



## 外国にルーツを持つ子どもへの教育・保育を充実させるための園の取り組み

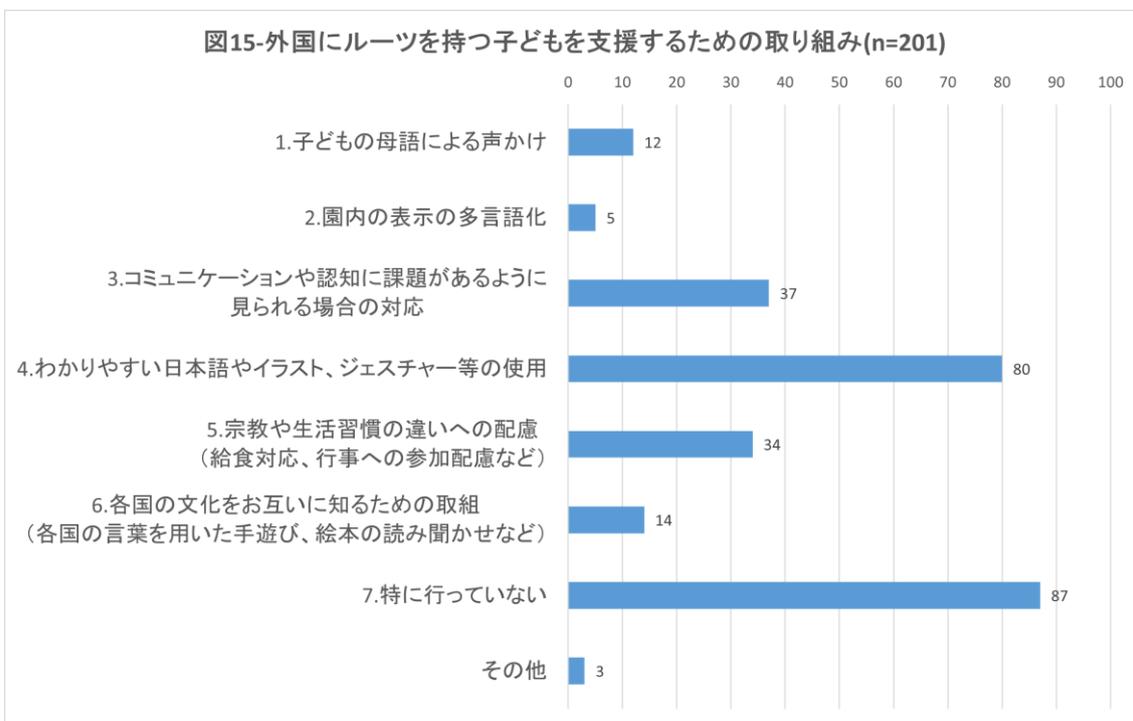
○外国にルーツを持つ子どもへの教育・保育を充実させるための取り組み (複数選択可)		公立	私立
1.園内で研修や勉強会等を開催している	15	4	11
2.外国にルーツを持つ子どもについて、通訳や母語が話せる保育士・保育補助者と、一般の保育士とで情報共有する機会を設けている	3	0	3
3.他の園との情報交換を行っている	23	17	6
4.園外の研修に参加している	29	11	18
5.特に行っていない	143	45	98
その他	4	3	1
計	217	80	137

図14-外国にルーツを持つ子どもへの教育・保育を充実させるための  
取り組み(n=201)



## 外国にルーツを持つ子どもを支援するための通常の教育・保育の中での取り組み

○外国にルーツを持つ子どもを支援するための取り組み (複数選択可)		公立	私立
1.子どもの母語による声かけ	12	4	8
2.園内の表示の多言語化	5	1	4
3.コミュニケーションや認知に課題があるように見られる場合の対応	37	15	22
4.わかりやすい日本語やイラスト、ジェスチャー等の使用	80	37	43
5.宗教や生活習慣の違いへの配慮(給食対応、行事への参加配慮など)	34	12	22
6.各国の文化をお互いに知るための取組(各国の言葉を用いた手遊び、絵本の読み聞かせなど)	14	2	12
7.特に行っていない	87	27	60
その他	3	0	3
計	272	98	174

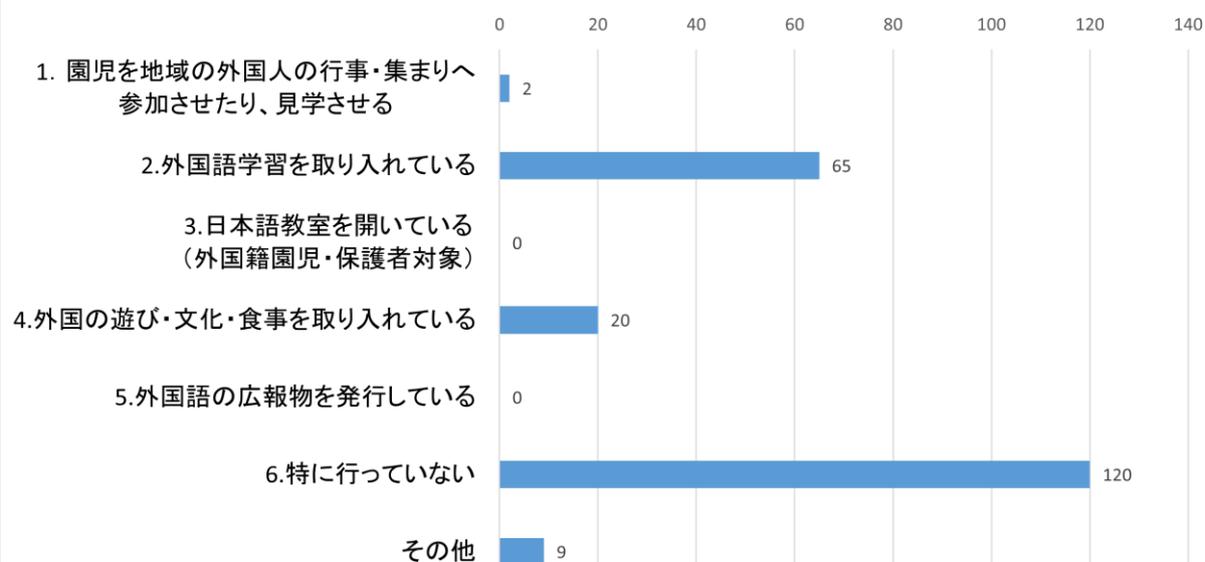


## 力を注いでいる異文化プログラム、行事などの取り組み

○力を注いでいる異文化プログラム、行事などの取り組み  
(複数選択可)

		公立	私立
1. 園児を地域の外国人の行事・集まりへ参加させたり、見学させる	2	0	2
2. 外国語学習を取り入れている	65	20	45
3. 日本語教室を開いている(外国籍園児・保護者対象)	0	0	0
4. 外国の遊び・文化・食事を取り入れている	20	4	16
5. 外国語の広報物を発行している	0	0	0
6. 特に行っていない	120	47	73
その他	9	3	6
計	216	74	142

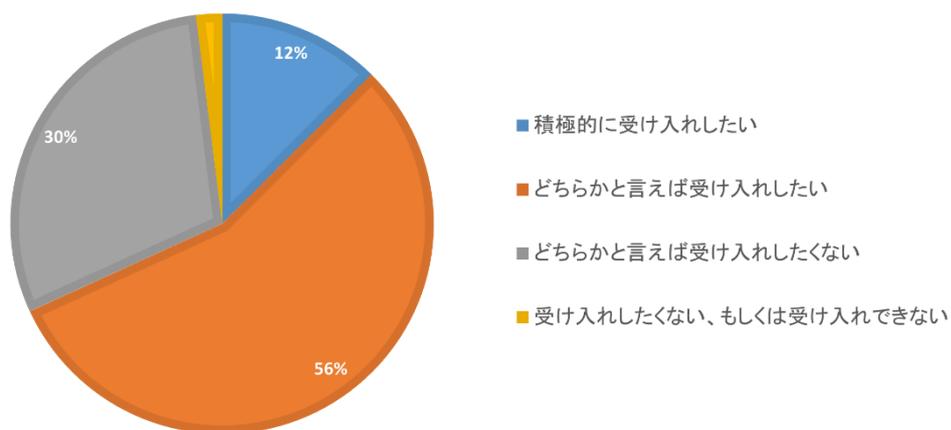
図16-力を注いでいる異文化プログラム、行事などの取り組み(n=201)



## 外国にルーツを持つ子どもを積極的に受け入れたいか

○外国にルーツを持つ子どもを積極的に受け入れたいか (選択は1つまで)		公立	私立
積極的に受け入れたい	25	4	21
どちらかと言えば受け入れたい	112	43	69
どちらかと言えば受け入れたくない	60	22	38
受け入れたくない、もしくは受け入れできない	4	2	2
計	201	71	130

図17-外国にルーツを持つ子どもを積極的に受け入れたいか

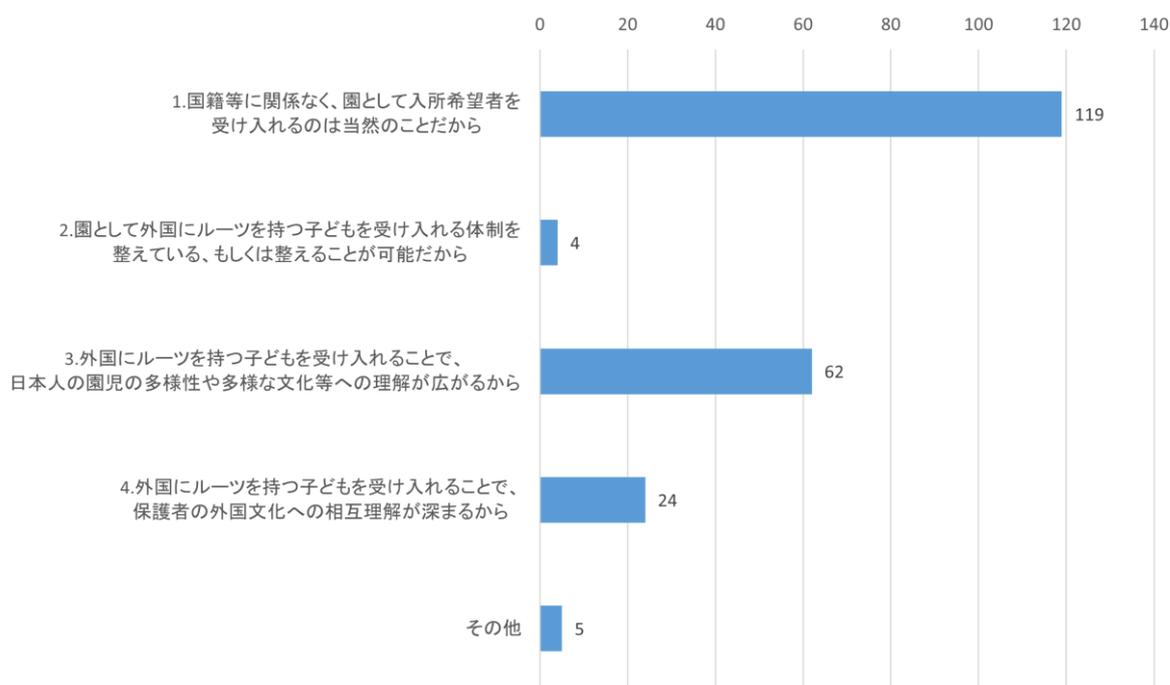


## 積極的に受け入れたい、どちらかと言えば受け入れたいと答えた理由

○積極的に受け入れたい、どちらかと言えば受け入れたい理由  
(複数選択可)

1.国籍等に関係なく、園として入所希望者を 受け入れるのは当然のことだから	119
2.園として外国にルーツを持つ子どもを受け入れる体制を 整えている、もしくは整えることが可能だから	4
3.外国にルーツを持つ子どもを受け入れることで、 日本人の園児の多様性や多様な文化等への理解が広がるから	62
4.外国にルーツを持つ子どもを受け入れることで、 保護者の外国文化への相互理解が深まるから	24
その他	5
計	214

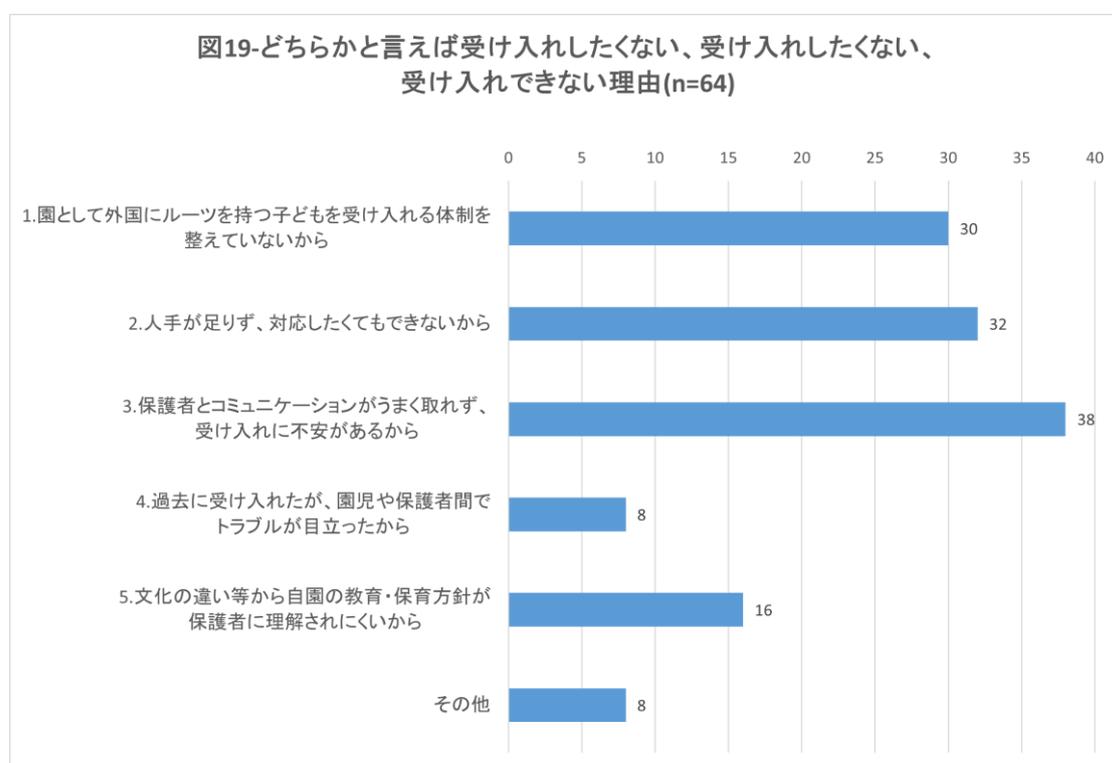
図18-積極的に受け入れたい、どちらかと言えば受け入れたい理由  
(n=137)



どちらかと言えば受け入れたくない、受け入れたくない、もしくは受け入れできない理由

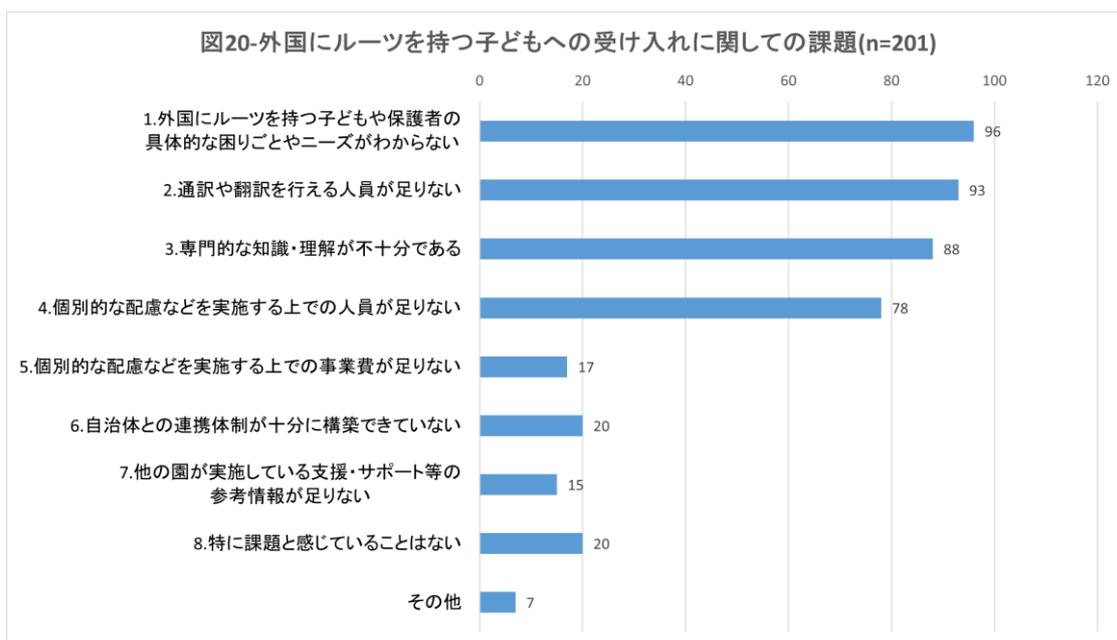
○どちらかと言えば受け入れたくない、受け入れたくない、受け入れできない理由(複数選択可)

1.園として外国にルーツを持つ子どもを受け入れる体制を整えていないから	30
2.人手が足りず、対応したくてもできないから	32
3.保護者とコミュニケーションがうまく取れず、受け入れに不安があるから	38
4.過去に受け入れたが、園児や保護者間でトラブルが目立ったから	8
5.文化の違い等から自園の教育・保育方針が保護者に理解されにくいから	16
その他	8
計	132



## 外国にルーツを持つ子どもの受け入れに関して課題があるか

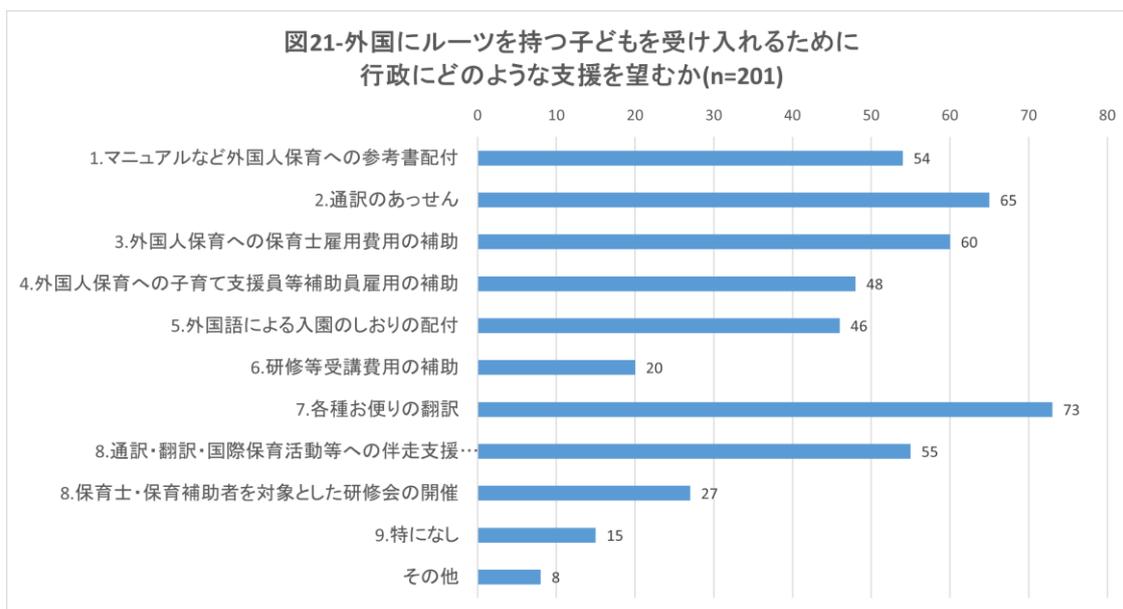
○外国にルーツを持つ子どもの受け入れに関する課題 (複数選択可)		公立	私立
1.外国にルーツを持つ子どもや保護者の具体的な困りごとやニーズがわからない	96	40	56
2.通訳や翻訳を行える人員が足りない	93	34	59
3.専門的な知識・理解が不十分である	88	35	53
4.個別的な配慮などを実施する上での人員が足りない	78	25	53
5.個別的な配慮などを実施する上での事業費が足りない	17	1	16
6.自治体との連携体制が十分に構築できていない	20	1	19
7.他の園が実施している支援・サポート等の参考情報が足りない	15	3	12
8.特に課題と感じていることはない	20	5	15
その他	7	2	5
計	434	146	288



## 外国にルーツを持つ子どもの受け入れるために行政にどのような支援を望むか

○外国にルーツ持つ子どもを受け入れるために行政にどのような支援を望むか(複数選択可)

		公立	私立
1.マニュアルなど外国人保育への参考書配付	54	24	30
2.通訳のあっせん	65	30	35
3.外国人保育への保育士雇用費用の補助	60	17	43
4.外国人保育への子育て支援員等補助員雇用の補助	48	10	38
5.外国語による入園のしおりの配付	46	20	26
6.研修等受講費用の補助	20	1	19
7.各種お便りの翻訳	73	35	38
8.通訳・翻訳・国際保育活動等への伴走支援 (サポート人材による園への定期訪問等)	55	20	35
8.保育士・保育補助者を対象とした研修会の開催	27	12	15
9.特になし	15	3	12
その他	8	0	8
計	471	172	299



「やまなし外国人相談支援センター」を知っているか？

○「やまなし外国人相談支援センター」を知っているか？		公立	私立
知っている	51	27	24
知らない	150	44	106
計	201	71	130

図22-「やまなし外国人相談支援センター」を知っていますか？

